

熊本県立劇場 伝承芸能調査事業 市町村別データベース(山鹿市)

No.	地域	伝承地	名称	呼称	文化財指定	公開日	公開場所	内容	分類	保存団体名	問合先	祈願
1	山鹿市	大字山鹿	肥後神楽	ひごかぐら		8月16日	大宮神社	《演目》式神楽、真柴木、剣弓、二剣、長幣、宝剣、羽々矢、神宣歌、四剣、四方拝、国津、地鎮の舞。《特色》肥後神楽の系統の神楽は、氏子が舞っているが、ここだけは神職により伝承されている。【1991】	【伝統芸能】 神楽			
2	山鹿市	大字山鹿	山鹿灯籠		山鹿市無形民俗文化財 昭和45年12月24日	8月15日 8月16日		大宮神社に奉納される踊り。女性が頭の上に和紙で作られた灯籠を載せて踊る。【2001】				
3	山鹿市	大字宗方	宗方万行		山鹿市無形民俗文化財 昭和45年12月24日	不定期	宗方神社	踊りは小坂雨乞い踊りに似ている。【2001】 《構成》太鼓1人、笛2人、鉦1人、まくり2人、踊り10人程度。《特色》享保年間、大旱魃に見舞われたとき願嘗という旅のそりが雨乞いの踊りとして伝えたという。踊りは、瓢箪を手に持ち踊る。【1991】				
4	山鹿市	大字小坂	小坂雨乞い踊り		山鹿市無形民俗文化財 昭和45年12月24日	不定期	諏訪神社	発祥は室町時代の中期と伝えられている。【2001】 《構成》銅鑼(大太鼓)1、小太鼓1、笛1、鐘1、まくり2人、踊り10人程度。《特色》室町時代に旅の僧により伝えられたという雨乞いの踊り。【1991】	【伝統芸能】 風流芸			
5	山鹿市	大字長坂	なれなれなすび踊り	なれなれなすびおどり	山鹿市無形民俗文化財 昭和45年12月24日	3月9日	厳島神社	豊作折り舞楽奉納。なれなれなすび踊りが6日夜、長坂の厳島神社であり、若者たちが独特の踊りで五穀豊穡を祈願した。「なれなれ」は豊作を祈る「成れ成れ」の意味。踊りは中世に起源をもつといわれる。一時途絶えたが復興、約200年前から現在まで伝わっている。地域の人たちが集まった神事後、拝殿で直会の食事。午後10時過ぎ、腹ごしらえをした踊り手6人が麻の狩衣を着け、烏帽子に見立てた二つ折りの編み笠をかぶって登場、4人のたたき手が打ち鳴らす直径約1mの大太鼓を囲んだ。10人余りの歌い手による「みんみら三つ、よさイヨサ、なれなれなすのんやアコレナ」の掛け声で踊りがスタート。古風な歌詞に合わせ、踊り手が前傾させた体を左右に振って進み、片足を跳ね上げながら上体を起こして手拍子を打つ伝統の舞楽を奉納した。【2010.3.8熊日】 本来は念仏踊りに起源をもつものと考えられている。【2001】 《構成》踊り6人(上・中・白銀の各地区から2人)、どら打ち4人、歌い手10人。《特色》夜12時、舞殿で踊られる。大きなどらを中心に、4人のどら打ちが太鼓を叩く、その廻りを時計回りに踊子が踊る。【1991】				五穀豊穡
6	山鹿市	大字山鹿	犬子ひょうたん	いんごひょうたん	山鹿市無形民俗文化財 昭和48年6月10日	6月15日	大宮神社	疫病よけのお守りとして6月15日の祇園祭で作られるようになった。【2001】				
7	山鹿市	(旧鹿本町)中川字川北部落	川北雨乞い踊り		鹿本町無形民俗文化財 昭和56年5月20日	不定期		川北八幡宮の社人から伝えられた神事から派生した雨乞いの行事である。【2001】 《特色》銅鑼、太鼓、鐘、三味線(入らないこともある)の囃子に合わせて男(瓢箪を持つ)女が円陣を組んで踊る。【1991】	【伝統芸能】 風流芸			
8	山鹿市	山鹿市志々岐	志々岐神楽	しじきかぐら		3月15日 11月15日	志々岐阿蘇神社	《演目と構成》禰(1人舞)、幣(2人舞)、二剣(2人舞)。[中絶曲: 剣弓(2人舞)、四剣(4人舞)、歌舞(1人舞)]。《沿革》志々岐阿蘇神社は、氏子と共に一の宮の阿蘇神社から来たと言われており、神楽も同時に伝えられたものだとされている。もともとは子ども神楽であったという。終戦後、途絶えていたが昭和61年に復活した。【1991】	【伝統芸能】 神楽			
9	山鹿市	山鹿市蒲生	蒲生神楽			11月20日	蒲生神社	《演目および構成》剣舞(1人)、剣舞(2人)、剣舞(4人舞)、弓剣舞。【1991】	【伝統芸能】 神楽			
10	山鹿市	山鹿市坂田	坂田神楽	さかたかぐら		3月10日 7月上旬 (田植え終了後)	坂田阿蘇神社 坂田八坂神社	《演目および構成》禰舞(2人舞)、参舞(2人舞)、弓舞(2人舞)、弓剣(2人舞)、二剣舞(2人舞)、四剣舞(4人舞)、歌舞(1人舞)、四手舞(1人舞)、地固め舞(1人舞)【1991】	【伝統芸能】 神楽			

No.	地域	伝承地	名称	呼称	文化財指定	公開日	公開場所	内容	分類	保存団体名	問合せ先	祈願
11	山鹿市	山鹿市小坂	小坂神楽			12月1日	小坂熊野座神社	《演目および構成》初剣(1人舞)、幣(1人舞)、二剣(2人舞)、四剣(4人舞)、弓舞(2人舞)、櫛(1人舞)、二天(2人舞)。【1991】	【伝統芸能】 神楽			
12	山鹿市	山鹿市中	中村神楽	なかむらかぐら		3月5日 11月5日 6月15日 8月16日 10月15日	中村稻荷神社 中村稲荷神社 大宮神社 大宮神社 中双子塚神社	演目および構成⇒櫛(2人舞)、御幣(2人舞)、二剣(2人舞)、剣弓(2人舞)、四剣(4人舞)、弓(1人舞)、地固め(1人舞)。【中絶曲:歌神楽、二剣、うわや】【1991】	【伝統芸能】 神楽			
13	山鹿市	山鹿市平山前川内	平山神楽	ひらやまかぐら		1月1日 9月15日 11月8日	平山阿蘇神社	《演目および構成》初剣(1人舞)、幣(2人舞)、弓剣(2人舞)、二剣(2人舞)、櫛(1人舞)。【1991】	【伝統芸能】 神楽			
14	山鹿市	山鹿市長沖	肥後琵琶	ひごびわ								
15	山鹿市	鹿北町椎持南松尾	椎持神社神楽			9月25日	椎持神社	《演目および構成》奏剣(1人舞)、櫛(2人舞)、御幣(2人舞)、参舞(1人舞)、四剣(4人舞)、剣弓(2人舞)、弓(2人舞)、遷々歌(1人舞)、地固め(1人舞)。【19991】	【伝統芸能】 神楽			
16	山鹿市	鹿北町岩野陣内	岩野神社神楽			4月14日 11月23日 11月第3土日	岩野神社 岩野神社 町民グラウンド	《演目および構成》櫛(1人舞)、御幣(1人舞)、参舞(2人舞)、四剣(4人舞)、地固め(1人舞)、剣弓(2人舞)。【中絶曲:二天】【1991】	【伝統芸能】 神楽			
17	山鹿市	鹿北町四丁	阿蘇古代神楽	あそこだいかぐら		11月23日	年禰神社	《演目》櫛、幣、折敷、剣。《特色》1人舞が基本で、畳二帖くらいの座のなかで順逆に舞う。【1991】	【伝統芸能】 神楽			
18	山鹿市	鹿北町川原谷	川原谷神楽			4月27日 11月25日	川原谷神社	《演目》神舞、ごえい舞、剣舞、引舞、どんぐり舞。【1991】	【伝統芸能】 神楽			
19	山鹿市	鹿北町芋生	芋生神楽			4月3日 11月23日	金凝神社	《演目》1人舞(櫛、御幣、剣)、2人舞(櫛、御幣、剣、剣弓)、4人舞(剣)。【中絶曲:二典】【1991】	【伝統芸能】 神楽			
20	山鹿市	鹿北町柏木	柏木神楽			11月23日	柏木熊野座神社	《演目》櫛、幣、じへい、二剣、四剣、歌舞、座固、弓。【1991】	【伝統芸能】 神楽			
21	山鹿市	菊鹿町太田	太田神楽			4月5日 9月15日	鷹取八幡宮	《演目および構成》初剣(1人舞)、幣(2人舞)、二剣(2人舞)、四剣(4人舞)。【1991】	【伝統芸能】 神楽			
22	山鹿市	菊鹿町大林	大林神楽			9月15日	大林大隈神社	《演目と構成》櫛(1人舞)、剣(1人舞)、御幣(2人舞)、弓(2人舞)、四剣(4人舞)、歌神楽(1人舞)、二剣(2人舞)、鬼人(2人舞)。【1991】	【伝統芸能】 神楽			
23	山鹿市	菊鹿町相良	相良神楽	あいらかぐら		9月1日 11月22日	御陵さん 吾平神社	《演目および構成》剣(1人舞)、櫛(2人舞)、散米(1人舞)、雙幣(2人舞)、雙雙弓(2人舞)、四剣(4人舞)、歌神楽(2人舞)、弓剣(2人舞)、二剣(2人舞)、地固(1人舞)。【1991】	【伝統芸能】 神楽		菊鹿町役場 TEL 0968-48-3111 FAX 0968-48-3188 〒861-0406 鹿本郡 菊鹿町大字下内田713	
24	山鹿市	菊鹿町相良	相良雨乞い踊り	あいらあまごいおどり		10月10日	相良広場	《特色》総勢8人ほどが男役は刀、女役は槍を持って踊る。現在は婦人会によって演じられている。【1991】	【伝統芸能】 風流芸	区長	菊鹿町役場 TEL 0968-48-3111 FAX 0968-48-3188 〒861-0406 鹿本郡 菊鹿町大字下内田713	
25	山鹿市	鹿本町来民	ふゆじ竹踊り			不定	不定	《特色》来民は全国でも有数の洪団扇の産地であった。ふゆじ竹とは洪団扇を乾かす時に団扇を刺しておく竹のことである。ふゆじ竹に団扇を刺しているものを背中に背負い輪になって踊る。【1991】				

No.	地域	伝承地	名称	呼称	文化財指定	公開日	公開場所	内容	分類	保存団体名	問合せ先	祈願
26	山鹿市	鹿央町寺米野	寺米野の神楽			3月15日	寺米野熊野宮	《演目および構成》神舞(2人舞)、散舞(1人舞)、長幣舞(2人舞)、弓舞(2人舞)、弓剣舞(2人舞)、刀舞(4人舞)、師匠(歌)舞(1人舞)、二典舞(2人舞)、けたて舞(1人舞)。【1991】	【伝統芸能】 神楽			
27	山鹿市	鹿央町久野	岩戸神楽	いわとかぐら		1月8日 11月25日	久野菅原神社	《演目および構成》神舞(2人舞)、御幣舞(2人舞)、奉剣(2人舞)、弓剣(2人舞)、四剣舞(4人舞)、神詞舞(2人舞)、二典舞(2人舞)。《沿革》百年ぐらい前に山鹿市長坂、植木町大塚から伝わったという。【1991】	【伝統芸能】 神楽			
28	山鹿市	鹿央町大字千田字宮	宮区神楽			9月9日	宮区聖母八幡宮	《演目》神舞(2人舞)、御幣舞(1人舞)。《沿革》昔は神楽が奉納されていたが昭和の初め頃、途絶えてしまったので、昭和47年に子ども神楽として始められた。【1991】	【伝統芸能】 神楽			
29	山鹿市	鹿央町仁王堂	仁王堂神楽			3月15日	仁王堂日吉神社	《演目》神、御幣、三舞、四手、二剣、弓剣、四剣、歌舞、鬼、二天。【1991】	【伝統芸能】 神楽			
30	山鹿市	鹿央町下米野	下米野神楽			3月15日		《演目および構成》神(2人舞)、参舞(1人舞)、弓剣舞(2人舞)、八方舞(1人舞)。【1991】	【伝統芸能】 神楽			
31	山鹿市	鹿央町霜野	霜野神楽			3月15日	霜野日吉神社	《演目》御幣、神、参舞、長幣、二剣、弓剣、四剣、弓、歌舞、二天、止め舞。【1991】	【伝統芸能】 神楽			
32	山鹿市	鹿央町大浦	大浦神楽				大浦大山祇神社	《演目》神舞、幣舞、弓舞、四剣舞、歌舞、弓剣、二天、納舞。【1991】	【伝統芸能】 神楽			
33	山鹿市	鹿央町中浦	中浦神楽			3月15日	中浦菅原神社	《演目》神舞、幣舞、さん舞、長幣舞、二剣、弓剣、四剣、歌舞、二天、納舞。【1991】	【伝統芸能】 神楽			
34	山鹿市	鹿央町岩倉	岩倉神楽			3月15日	岩倉菅原神社	《演目》神、参舞、剣弓、して、弓弓、地方、二剣、四剣、歌舞、鬼人舞。【1991】	【伝統芸能】 神楽			
35	山鹿市	鹿央町堂米野	堂米野神楽			3月15日	菅原神社	《演目》神、参舞、長幣、四剣、弓剣、鬼人舞。【1991】	【伝統芸能】 神楽			
36	山鹿市	鹿央町寺米野	寺米野の雨乞い太鼓道行き踊り			不定	不定	《楽器》笛、三味線、鐘、大太鼓、小太鼓。【1991】	【伝統芸能】 風流芸			
37	山鹿市	鹿北町	鹿北茶山唄			10月29日	鹿北体育センター	銘茶の産地として知られる鹿北地区で江戸末期から歌い継がれる鹿北茶山唄は、素朴な歌詞と節回りで知られ、全国各地の民謡大会などでも人気が高い。【2006.10.31.熊日】	民謡			
38	山鹿市	鹿央町	米野神楽	めのかぐら		11月23日	米野熊野座神社	同神楽は200年以上の歴史があるとされ、戦後、一時途絶えたが、33年前に保存会を結成し、毎年奉納を続けている。年々、会員の高齢化が進む中、今年は後継者を育てようと地区の小学生に初めて参加を呼び掛けた。【2012.11.25熊日】		米野神楽保存会		
39	山鹿市	菊鹿町	陵さん祭り	みさきざきまつり		9月1日	吾平山陵(あいらさんりょう)	地面にごさを敷いて、神楽保存会の7人が狩衣姿で舞を奉納する。【2012.10.19熊日】				
40	山鹿市	山鹿	山鹿風情物語	やまがふぜいものがたり		9月22日 9月29日 10月6日 10月7日 10月13日	八千代座	山鹿灯籠踊りと山鹿太鼓が競演するステージ。山鹿温泉観光協会が、山鹿の二大芸能を楽しんでもらおうと毎年催している。山鹿太鼓保存会が勇壮な演奏で会場を沸かせた後、山鹿灯籠踊り保存会が「よへほ節」などを優美に披露。浴衣姿の温泉客らが、木造の芝居小屋で繰り上げられる動と静のステージを楽しむ。【2012.9.17】				

No.	地域	伝承地	名称	呼称	文化財指定	公開日	公開場所	内容	分類	保存団体名	問合せ先	祈願
41	山鹿市	山鹿	八千代座大歌舞伎	やちよざおおかぶき		11月24日 11月25日	八千代座	坂東三津五郎さんと中村芝雀さんが華麗な舞台を披露。地元の活性化を目指して九日町商店街を母体とする実行委員会が松竹とタイアップし、2003年から毎年開催している。演目は「魚屋宗五郎」と「京人形」。河竹黙阿弥作の「魚屋宗五郎」では、奉公していた妹を理不尽に手打ちにされ、断っていた酒を飲んで旗本屋敷へ乗り込む宗五郎を三津五郎さんが熱演。旗本屋敷で、見せ場となる長台詞の啜りを切ると、客席は大いに沸いた。長男の坂東巳之助さんも鷹頭の吉五郎役で共演した。「京人形」では、名工が丹精込めて作った京人形に宿った精を、女形の芝雀さんが妖しく演じた。【2008.11.26熊日】				
42	山鹿市		山鹿灯笼浪漫・百華百彩	やまがとうろうるまん・ひやつかひやくさい		2月5日	八千代座周辺	12月に完成100周年を迎える山鹿市の芝居小屋八千代座一帯で光のイベントが始まった。5日午後7時から、八千代座前で点灯式があり、金灯笼を頭に乘せた女性たちが優雅な踊りで雰囲気盛り上げた。【2010.2.6西日本】				